

## のざりんより 2

野沢良一

今年も停車場に投稿することにしました。

### デジタルとアナログ

言葉だけで考えてみると、デジタルの方がアナログより優れているというイメージが多いと思います。私もそのように思っていました。

長い歴史をもっているアナログ放送。デジタル放送が始まって、画像を見てみると、「すごくきれい！！」その違いに驚嘆しました。

そういえば、営団地下鉄（東京地下鉄？）「銀座線」で当初から列車の安全装置がついていました。「打子式ATS」と呼ばれるものですが、私はしばらく打子式（だこしき）と思っていました。仕組は、線路軌道の脇にある打子（個人的には棒のようなものだと思っている）があり、赤信号の時は、打子のアームが立ち上がり、車両が通過しようとする、車両についているレバーにあたり、機械的にブレーキがかかる装置です。

簡単に言えば、赤信号の時は、打子のアームが立ち上がり、電車が通過しようとする、アームにあたり、機械的にブレーキがかかり、青信号になると、引っ込むのでそのまま通過というシステムです。

昔、銀座線か丸ノ内線で棒（アーム）が上下するのを見て、「これは何だろう？」と思っていましたが、現在になって、あれが安全装置だと気づいてびっくりしています。

現在の「安全装置」は様々なものがあり、また細かい制御ができます。安全装置あまり関係ないかもしれませんが、最近、山手線に新車両（試作車）が導入されたとき、初日から車両制御システム問題でトラブルが発生してしまいました。原因は、ソフトウェアの不都合といわれています。

### パソコン室の中間モニター

この夏にパソコン室の更新がありました。

・・・細かいことは省いて、パソコン室の「中間モニター」について書きたいと思います。更新前の「中間モニター」は15ピンのRGBケーブル（アナログ）で接続されていました。アナログのケーブルを使用していたので、ケーブルの劣化や距離によって、ノイズの発生が多くなったりしていました。そのため授業で少しでも使いやすくするために、今回はデジタル接続を選択しました。

結果は全モニターともクリアな画像で満足しています。

しかし、いくつかの問題がありました。

パソコンから出力、モニターもデジタル入力ができるので、ただデジタル対応のケーブルでつなげればいいじゃん！と思っていました。しかし、実際にはそのように簡単にはいきませんで

した。

理由は、セレクター（切替機）に接続される機器すべてがデジタル出力であると問題が無いのですが、入力ソースに RGB、ビデオ端子等があり、出力には音声（アンプに接続されるのでアナログ出力が必要）があり、おのおの変更するためにコンバーターが必要となりました。また、それぞれのコンバーターには、電源が必要とのことで、配線がかなり複雑になってしまいました。また、入力ソースも、信号ごとに解像度などを切り替えるため、かなり時間がかかるようになってしまいました。

## デジタルカメラ

昔から写真を撮るのが好きで、フィルム時代から撮影していました。

しかし、（私は）貧乏だったので、写真を撮って、現像のみ行い、焼き増しをしません（できません?）。そのため、家に大量のネガフィルムがあります。

2005 年にレンズが交換できるカメラを購入したから、デジタルカメラを使っています（電車の中に置き忘れて無くしてしまったのは秘密ですよ）。

それから、デジタルカメラの性能が良くなり、夢のような ISO6400、ISO12800 でも撮影できるようになりました。その上、デジタルカメラで撮影したものは、データに、撮影した日時、撮影機材、レンズの焦点距離、絞りの値、シャッタースピードなどが記録されています。あとで、写真データを整理するときは便利です。

・・・しかし、GPS機能を有効にしておくと、撮影場所がわかって便利ですが、インターネットなどに写真を公開するときには、撮影場所（自宅などで撮影した場合）を把握されたくない場合、位置情報が残ったまま公開されてしまうという場合がありますので注意が必要です。また、撮影した写真は、印刷をしなくてもパソコンの画面で見ることができ、撮影後のランニングコストは激減しました。

文章に写真を貼り付ける場合や、ホームページで使用する場合はデジタルカメラの写真データだとそのまま加工してすぐに使えますが、ポジやネガフィルムなどは、フィルムスキャン等でデータを取り入れなければ使用できず、その上、スキャンしたものに、ほこりやノイズがあった場合は修正という手間が入ってしまい、デジタルカメラのデータは格段に使い勝手が良くなっています。

欠点は、バッテリーが必要なこと。（長年使用してきたカメラは、電池がなくても使用することができました。）

また、メモリーの空き容量があれば写真を何枚でもとれるので、撮影枚数が多くなることでしょうか？



長年使用してきたフィルムカメラ

夏休みで一番楽しかった鉄研旅行

今年の夏旅行は満喫しました。

上野駅→会津若松駅→DLばんえつ物語乗車→新津駅→新潟駅→東京駅

という旅行でしたが、楽しかった！！

集合から日比谷線の上野駅に移動。電車を待っていたら、私が好きな、日比谷線の03系入線。思わず、シャッターを切りました。



日比谷線の03系

次に、北千住駅ホームで電車を待っていた時に、なんか見たことがある電車だなあと考えていたら、電車が近づいてきたところ、なんと！！！！

半蔵門線の8000系！！

またもや興奮してしまいました。

会津若松に到着後、せっかくだから写真を・・・ということで、撮影したところ、なんと行き先が「野沢」行。思わず撮影してしまいました。



半蔵門線の8000系

みんなで、温泉にということで、駅前の「富士の湯」に入湯。今までの疲れが一気に吹っ飛ばすような開放感、いや、爽快感！

満喫しました。

昼食を食べるラーメン屋さんを探していたところ駅前踏切の遮断機が下りました。

これから我々が乗車する「DLばんえつ物語」の列車入れ替え作業が始まったのでした。ヘッドマークは「SLばんえつ物語」となっていました。すごい、仕事が早いです。

もともとは「DLばんえつ物語」だったんですが、蒸気機関車（C57 180）が故障のため、急遽、ディーゼル機関車（DE10 1700）が牽引する



ことになったそうです。

踏切を渡ろうとしたら、遮断機が下り、踏切上での入れ替え作業が始まりました。



静止画だとわかりませんが、機関車は止まっています。



切り離しをしたところです。

私たちは、鉄道が好きなので、喜んで入れ替え作業を見ていましたが、一般の方は、



「まだか！まだか！」と気持ちで見えていたかもしれません。

車両に張ってあるプレートも、「DLばんえつ物語」となっていました。

列車内では、(私も含めて) みんな満喫しているようでしたが、顧問の先生は少々お疲れ気味でした。



発車時は「蒸気機関車」では無いので、蒸気機関車独特の煙のにおいには感じられませんでした。しかし、機関車が牽引する「客車」と、普段乗っている「電車」とは乗り心地の違いを味わいました。

しばらく行くと、「野沢駅」に長時間（10分程度）しました。

「野沢駅」で看板を撮影したり、一緒に写してもらったり楽しみました。



列車の車内で、マグネットをもらいました。

今回は「野沢駅」と「津川駅」の2個。一緒にもらったパンフレットを見ると、日時によってもらえるマグネットが違い、「野沢駅」のマグネットは、旅行の前日（8月18日）の「新津行」と、旅行当日（8月19日）の「新津行」の2日間のみとわかり、運命を感じました。ラッキー！！



#### いただいたマグネット

次に、じゃんけん大会があり、1車両で、勝ち残った4名にオリジナルストラップを景品としてもらえるそうです。

じゃんけんで、私は一回目で負けてしまい、脱落・・・・・・・・。」

とおもいきや、最後で全員が脱落とのことで、リターンマッチ。二回目で運が良く、勝ち抜き、オリジナルストラップをいただきました。ラッキー。

そういえば、「野沢駅」に停車するとき、「霊験あらたかな・・・・・・・・野沢駅・・・」と車掌さんが紹介していました。「霊験で勝ったのかなあ・・・・・・・・。」

このような感じで、イベント、写真撮影などが有り「ばんえつ物語」を満喫することができました。感想としては、車掌さん、係のお姉さん・・・・・・・・など列車に乗車している方々の「ばんえつ物語」への気迫と深い愛情を感じました。

デジタル・アナログでいろいろ書いてきましたが、デジタル > アナログ でもなく、デジタル < アナログ でもない。デジタルにはデジタルの良さ、アナログにはアナログの良さがあります。

昨年の停車場にも書きましたが、私はEF62が好きです。

昔、NゲージでEF62が発売になっていないとき、どうしても欲しかったので、別の機関車を改造してEF62もどきにしようと考えました。しかし、独特の台車配置（C-C）の機関車は見当たらず、結局あきらめることになりました。そのときにもしかしてと考えたのが、今回の旅行でお世話になったDE10です。DE10も独特の台車配置（AAA-B）で、その台車（AAA）の部分を使ってみようと考えてみたものです。今回は、その機関車が引く列車に乗れたので感激しました。

最後に、旅行中気になったことを書きたいと思います。

電車の中での移動が多すぎること、声大きいこと。

他にもお客さんが乗っていますので、何回も車内を動き回ると迷惑です。もちろん、今回の「ばんえつ物語」は「列車好き」、「鉄道好き」の人が多く乗っていますので、ある程度は黙認

されるかもしれません。しかし、乗車しているお客さん“すべて”がそうでは無いはず。具体的に例をあげると、車内の通路にたっただま話をする、大きな声で話をする……。通路は移動するためのものです。また、車内移動トイレに行かれる方もいますし、別の車両に行かれる方もいます。これが、「貸切バス」や「校内の場所」でしたら、ほとんど外部の方に迷惑がかりません。しかし、“車内”では君たち以外にもお客さんがいます。そのお客さんも皆さんと同じように、旅を楽しみに来ているかもしれませんし、用事があってたまたま乗っているのかもしれません。“偶然”皆さんと出会ったために“嫌な思い出”にならないように、そして、お互いに“楽しい思い出”になるようにしましょう。